



自給飼料共励会が開催されました

【酪農研究部】

平成29年12月20日に第55回岐阜県自給飼料共励会「調製品の部」の集合審査会が開催されました。自給飼料共励会は、良質な自給飼料の増産を図るため、生産技術の向上と効率的利用技術の普及を目的に毎年開催されています。

県内各地域からトウモロコシやソルガムの高水分サイレージ14点、牧草サイレージ13点、稲WC S15点の計42点が出品され、刈取時期、香味や色沢など官能評価によって審査されました。今回の審査結果に加え、審査項目の一つである飼料の栄養評価について当部で成分分析を行い、分析結果も併せて最終審査が1月23日岐阜県福祉農業会館（岐阜市）で行われます。

なお、第55回自給飼料共励会褒賞贈呈式は、平成30年2月16日に中濃総合庁舎で開催されます。



獣医学術中部地区大会で豚の抗病性育種の取り組みについて発表

【養豚・養鶏研究部】

現在、豚の抗病性を改良形質に用いた育種について研究しており、今回豚の生産性を阻害する疾病に対しての抗病性と関連がありそうな遺伝子領域を発見しました。その内容について、当研究部の鈴木研究員が平成29年8月27日に開催された平成29年度獣医学術中部地区学会（富山市）において、「デュロック種におけるPMWS*の抗病性に関する遺伝的要因の探索」と題して発表を行い、地区学会賞を受賞しました。本発表は2月に全国規模で開催される平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大分市）でも発表を予定しています。

今後も各種の豚疾病と生産成績・肉質形質との関係を調査し、抗病性を備えた育種の成果を皆様に還元できるよう研究を推進して行きます。

※PMWS（多臓器性発育不良症候群）は豚サーコウイルス2型の感染により離乳子豚に発育不良等の症状を呈します。



昨年1月に県内で初めて高病原性鳥インフルエンザが発生しました。今年もその時期となり、各種防疫対策を実施しています。

○家畜衛生研修会の開催

平成29年11月9日に本病の防疫対策の一環として、当試験地において職員を対象とした家畜衛生研修会を開催しました。中濃家畜保健衛生所から講師を招き、本病の特性、海外での発生状況、昨年度発生事例等を分かりやすく解説をいただきました。併せて、当部獣医師より鶏舎の衛生指導を行いました。本病の侵入防止対策に対して一層の取組が必要と再認識をしました。

○消石灰の散布の実施

職員一同で鶏舎周辺等の消石灰散布を引き続き実施しています。今後も防疫対策の強化に努め、奥美濃古地鶏原種鶏等の貴重な遺伝資源を守っていきます。

○1月11日国内での発生（香川県）を受けて、種卵の緊急避難を進めております。



消石灰散布の様子

「永福久（ながふくひさ）」号の枝肉研究会を開催しました

【飛騨牛研究部】

岐阜県では種雄牛の造成を確実かつ効率的に実施するため和牛種雄牛産肉能力検定法の「直接検定法」及び「現場後代検定法」を実施しています。

「直接検定法」では、種雄牛候補として県内から選抜された10頭の雄子牛の発育能力や飼料効率等を調査し、これら10頭の中から「待機種雄牛」として3頭を選抜します。

「現場後代検定法」では、この3頭を先行交配することによって生産された産子（調査牛）を肥育して発育状況や枝肉成績等を調査し、その結果を踏まえて種雄牛としての選抜が実施されます。これら調査牛の産子の枝肉を確認して、その待機種雄牛が持つ産肉能力等を生産者ならびに関係者の皆さんと評価、検討する場が「枝肉研究会」です。

今回、「永福久（ながふくひさ）」号の枝肉研究会を、平成29年11月16日に飛騨ミート農業協同組合連合会において開催しました。

当日展示した計15頭（雌3頭、去勢12頭）の主な枝肉成績は平均出荷月齢28.2ヶ月、枝肉重量447.6kg、ロース芯面積59.3cm²、BMSNo.7.1、BCSNo.4.1、5等級率53.3%（8/15）および4・5等級率80.0%（12/15）という結果でした。今後判明する枝肉成績の結果も踏まえ種雄牛としての選抜や利用方法について検討されます。なお、枝肉成績の詳細は畜産研究所のホームページに掲載しておりますので御覧ください。

長い年月と多くの方々のご協力によって造成される種雄牛の能力を確認し、今後とも有効に利用していただくため、枝肉研究会には是非御参加ください。



永福久（ながふくひさ）号

現場後代検定枝肉研究会の開催予定

【飛騨牛研究部】

今年度の種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会の開催予定はつぎのとおりです。
（開催日時等詳細については、後日お知らせいたします。）

平成30年3月上旬 「正義久（まさよしひさ）」号 （父系三代祖 白清85の3－光平福－護熙王）
平成30年3月中旬 「八重藤（やえふじ）」号 （父系三代祖 白清85の3－茂重安福－北国7の8）

【場所】 飛騨ミート農業協同組合連合会 飛騨牛会館

岐阜県畜産研究所 ホームページ<http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- 飛騨牛研究部 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email boxbeef@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 酪農研究部 509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email boxdairy@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養豚・養鶏研究部 505-0037 美濃加茂市前平町 3-8
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email boxswine@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養鶏・養鶏研究部関試験地 501-3924 関市迫間 2672-1
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email boxpoultry@livestock.rd.pref.gifu.jp